

# 速度検層・P S 検層の目的と概要

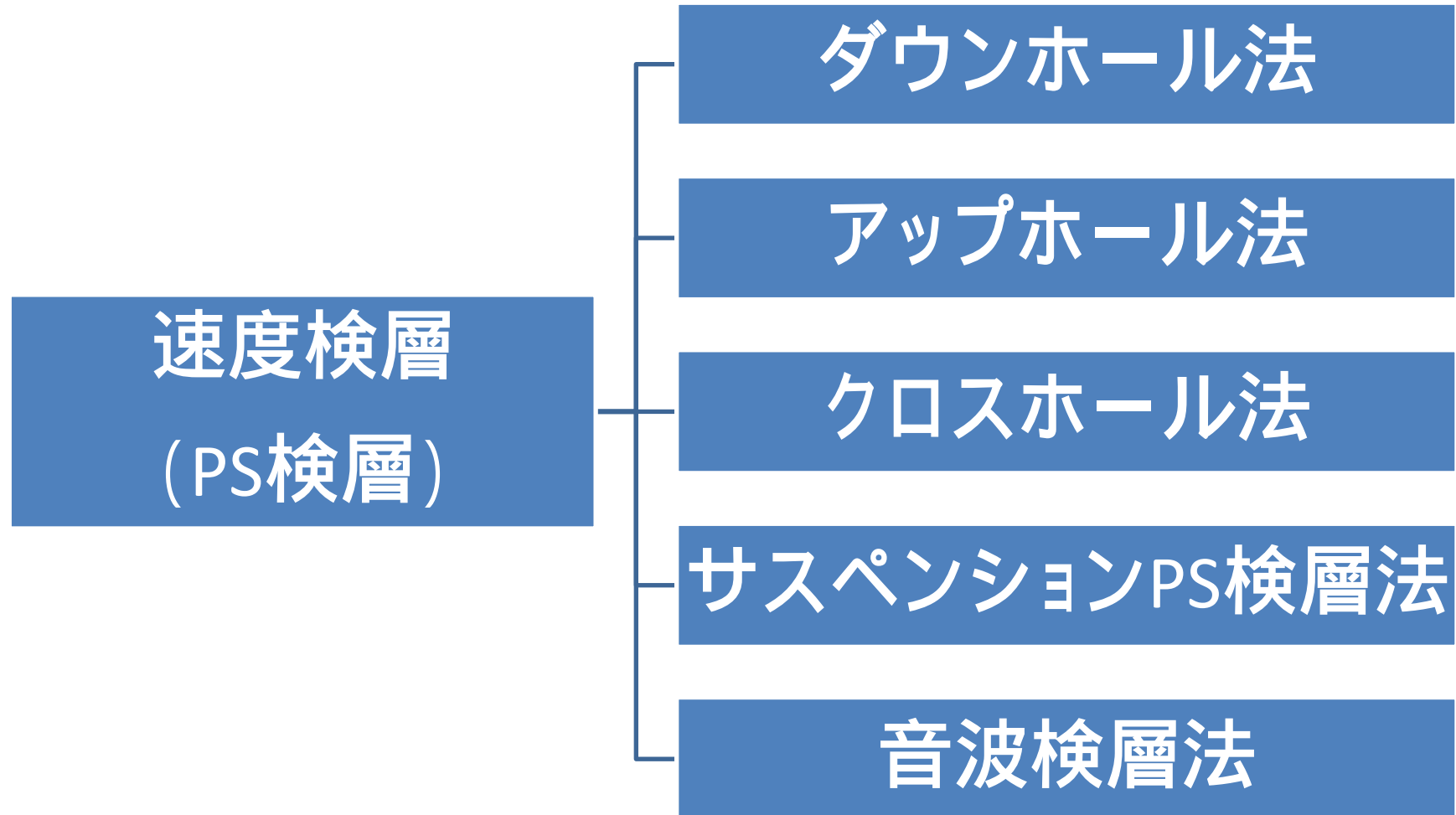
## 目的

- 地震時の建物建造物応答の把握、地盤評価

## 概要

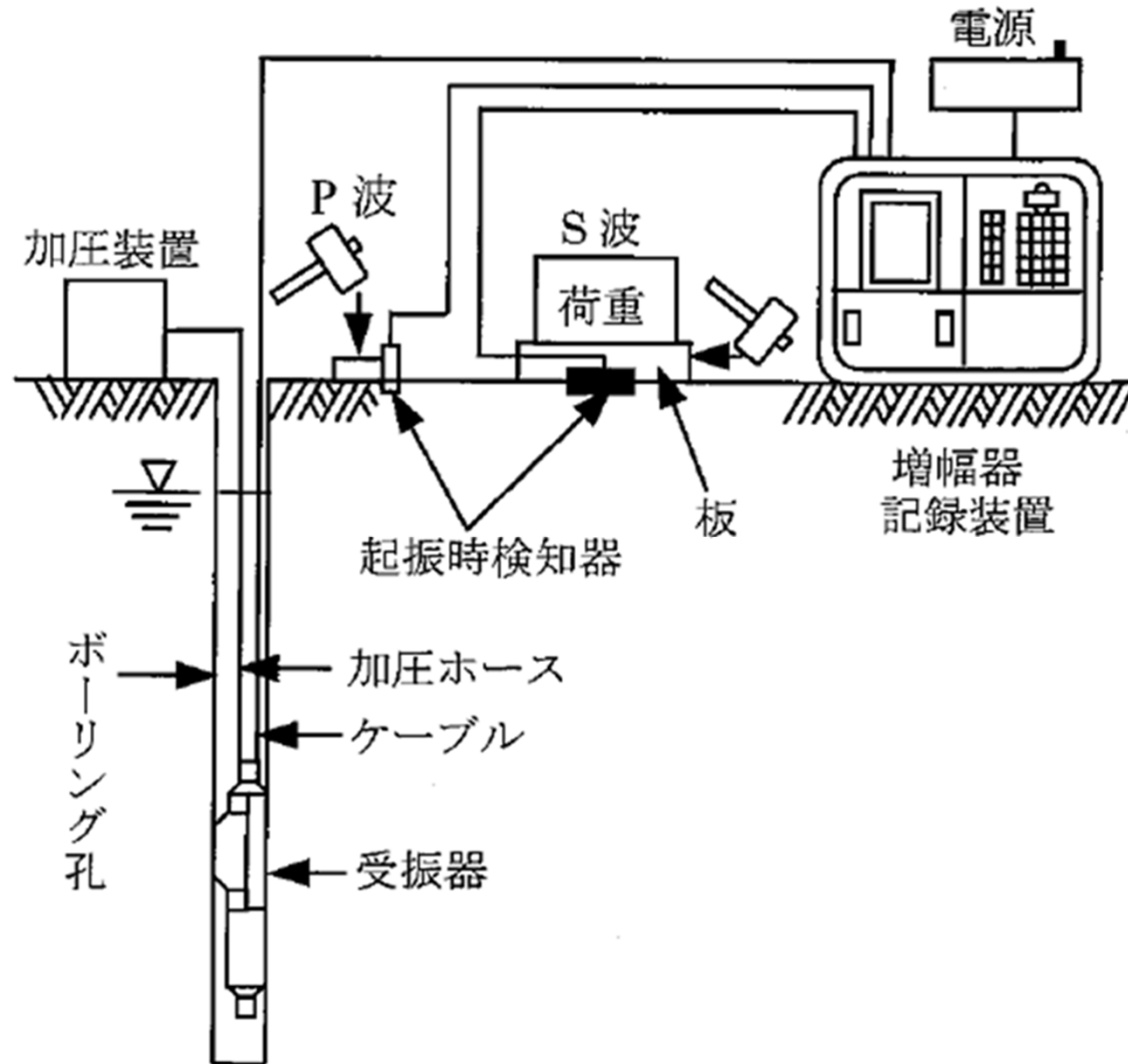
- ボーリング孔を利用して、弾性波が地中を伝播する速度を求める

# 速度検層・P S 検層の種類



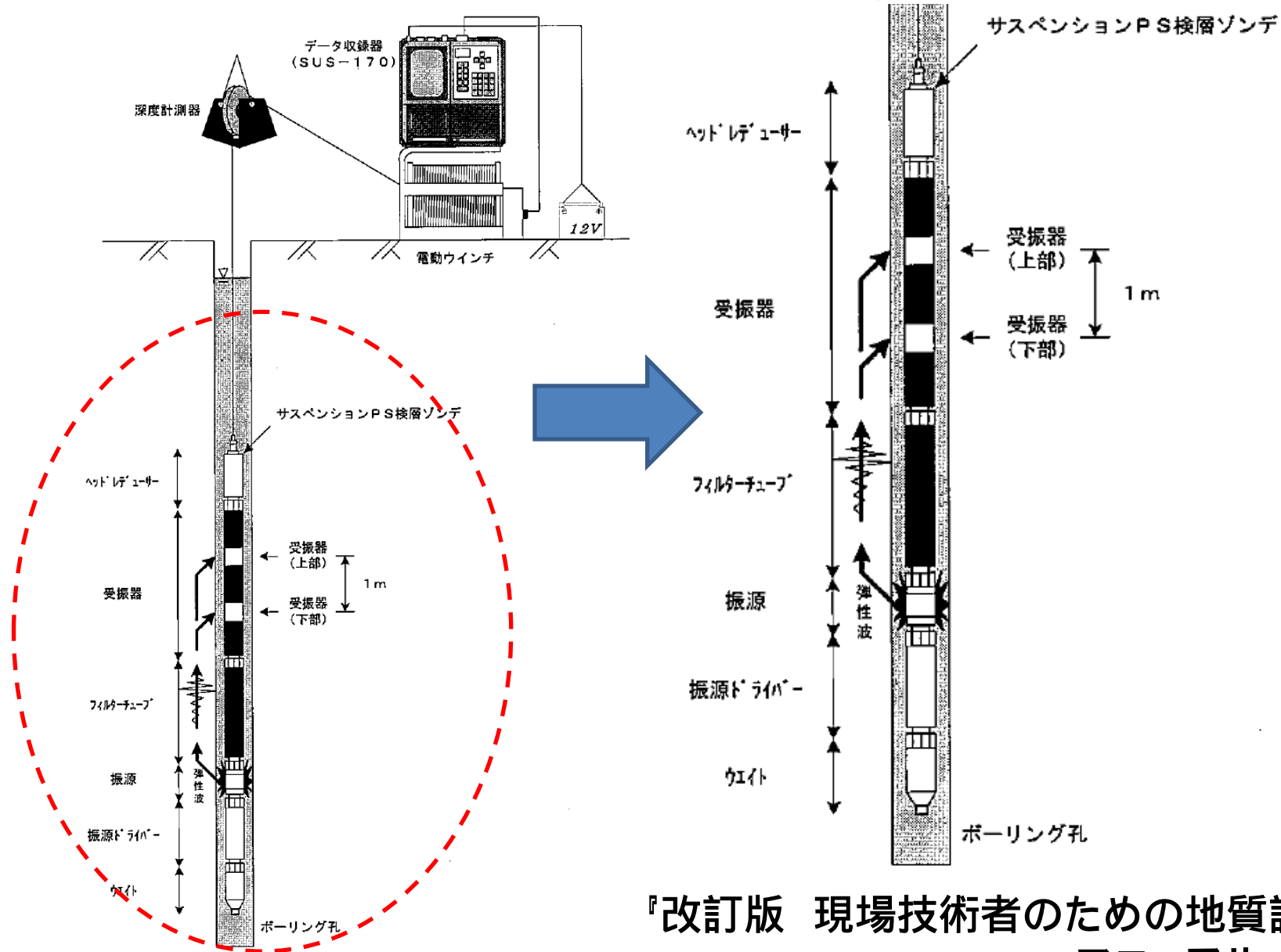
『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成

# PS検層のイメージ



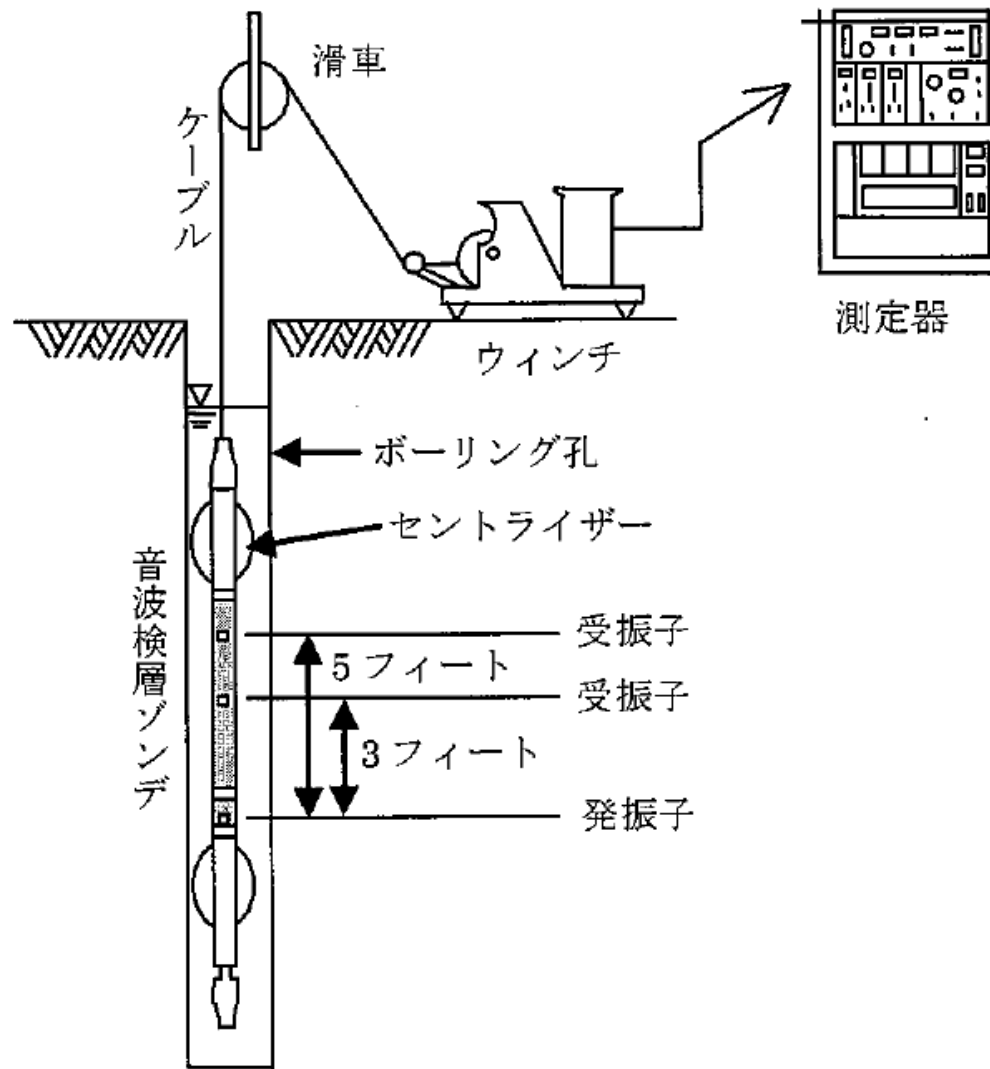
『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』より引用

# サスペンションPS検層のイメージ



『改訂版 現場技術者のための地質調査技術  
マニュアル』より引用

# 音波検層のイメージ



# 速度検層・PS検層の測定上の注意事項

## ジャミング

- 孔内状況確認、不安があれば孔内洗浄
- プロブを長時間、孔内に存置しない
- プロブの昇降はゆっくりと

## パッカー破損(PS検層)

- 孔壁拡大している箇所、無理に圧着しない(圧着深度移動)
- 移動の際には、十分に収縮させる

## 波形不良(PS検層)

- 振源の位置変える、荷重を増やす、振源板と地盤を密着させる(S波振源)
- プロブの孔壁への固着確認

## リーク、切断(サスペンションPS検層)

- プロブ、ネジ部、Oリング、フィルターチューブを手入れする
- プロブのケーブルヘッドを使用後常に清掃する

## 明瞭な波形が取得できない(サスペンションPS検層)

- ゲイン調整、スタッキングなどを行う(特に軟弱地盤)

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成